

<金標準、米国史上初のデフォルトに備える逃避相場・・・>



(出所：オアシス)

2011年8月3日にオバマ政権は債務上限法案を可決しデフォルトを回避したが、5日にS&Pが米国債格付けを「AAA」から「AA+」へ格下げを発表した事から、基軸通貨のドルに対する不信任を受け、金標準先物は安値 3982 円から高値 4725 円まで高値を試す値動きを行なっている。先週にバイデン大統領は、共和党マッカーシー下院議長と債務上限問題で協議を予定していたが、前向きな協議が行われない事から今週に延期している。特に新潟で行われた G7 財務相・中央銀行総裁会議に参加しているイエレン財務長官は、「議会がこれできない場合、米国の信用格付けに本当に傷が付くだろう。米国債であれ社会保障給付であれ、一部の支払いはデフォルト（不履行）となるほかない」と発言するなど、デフォルトリスクが高くなり、週末の金標準先物は一時 8665 円まで下値を模索したが、債務上限問題を抱えており、6月のXデーに向けて下げ渋る展開が続くと思われ、米国史上初のデフォルトに備えるのが無難と思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD や RCI では、MACD は **MACD** が下げ渋り、**シグナル** は下げ止まりを見せている。また RCI は **短期** が下げているが、**長期** は依然と高い水準を維持するなど強気を維持したオシレーターを示している。特に日足が上昇している **10 日移動平均線** で下げ止まりを見せており再度 8800 円を狙った値動きに思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,670,000 円(2023 年 5 月 15 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 40,700 円(2023 年 5 月 15 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会が開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>